

Emerson Wireless 1410S ゲートウェイ



安全上の注意事項

通知

本ガイドは Emerson Wireless 1410S ゲートウェイの基本的なガイドラインを提供します。診断、保守、整備、またはトラブルシューティングの手順はありません。詳細情報ならびに指示については、Emerson Wireless ゲートウェイ 1410S リファレンスマニュアルを参照してください。マニュアルおよび本ガイドは [Emerson.com/Rosemount](https://www.emerson.com/Rosemount) でも電子データで提供されています。

警告**爆発の危険**

そのエリアが非危険区域であることが明示されていない場合は、電気回路に通電している間にゲートウェイと接続したり、接続を切ったりしないでください。

Risque d'explosion

N'établissez ni ne rompez aucune connexion à la passerelle lorsque les circuits sont sous tension, à moins que la zone ne soit connue comme étant non dangereuse.

爆発が発生すると、死亡または重傷事故に至るおそれがあります

この装置を爆発性環境中へ設置するには、適切な地方、国および国際基準、規約および慣行に準ずる必要があります。安全な設置に関連する制限については、製品証明書セクションを確認してください。

リード線や端子に触らないでください。リード線に高電圧が残留している場合、感電するおそれがあります。

Les explosions peuvent entraîner la mort ou des blessures graves

L'installation de l'appareil dans un environnement explosif doit être conforme aux normes, codes et pratiques locaux, nationaux et internationaux appropriés. Consultez la section Certifications du produit pour toute restriction associée à une installation en toute sécurité.

Évitez tout contact avec les fils et les bornes. La haute tension qui peut être présente sur les câbles peut provoquer un choc électrique.

静電帯電が生じる危険

Emerson Wireless 1410S2 ゲートウェイのハウジングのポリウレタン塗装仕上げから静電放出の危険が生じるおそれがあります。Emerson Wireless 1410S1 ゲートウェイは、静電放出の危険を生じさせかねないポリウレタン塗装仕上げのハウジングに格納されています。爆発性雰囲気環境で取り扱ったり清掃したりする際には、静電放電を避けるよう十分に注意してください。

Risque potentiel de charge électrostatique

Voir les instructions.

修理/保守

Emerson Wireless 1410S ゲートウェイには、ユーザが保守できる部品はありません。本装置が適切に機能していない場合は、Emerson Wireless 1410S ゲートウェイのマニュアルのトラブルシューティングガイドを参照してください。トラブルシューティングの手順に従っても問題が解決しない場合は、工場までご連絡ください。

▲ 警告**物理的アクセス**

物理的なセキュリティは、どのセキュリティ計画にとっても重要な部分であり、システムを保護する上で必要不可欠です。資格のない人員のアクセスによって Emerson Wireless 1410S ゲートウェイ、および接続された現場の装置に意図的な、または予期しない損傷や誤構成が生じるおそれがあります。エンドユーザの資産を保護するため、無資格者による物理的アクセスを制限してください。

▲ 注意**装置の適合性**

メーカーが指定した以外の方法で使用する場合、保護機能が低下する可能性があります。

通知

1410S1 には、CAN/CSA 60079-0 の要件を満たす外部 IP54 が必要です。

Le 1410S1 a besoin d'un IP54 externe qui répond aux exigences de CAN/CSA 60079-0.

目次

ワイヤレス計画.....	5
パソコンの要件.....	6
初期接続と構成.....	7
物理的な設置.....	19
ソフトウェアのインストール (任意).....	28
動作の検証.....	29
製品認証.....	30
適合宣言.....	41

1 ワイヤレス計画

1.1 電源投入の順序

電源モジュールをワイヤレスフィールド機器に取り付ける前に、ゲートウェイを取り付けて、正常に動作させてください。ワイヤレスフィールド機器はゲートウェイに近いものから順番に始動するようにしてください。こうすることで、ネットワークをより簡単に素早く取り付けることができます。

1.2 Gateway の冗長性

冗長性のあるワイヤレスゲートウェイを注文された場合 (ゲートウェイ冗長性コード RD)、詳細情報については、Emerson Wireless 1420 ゲートウェイの[リファレンスマニュアル](#)の付録 D を参照してください。

1.3 ゲートウェイファームウェアの互換性

ゲートウェイファームウェアは、ホスト接続との互換性が必要です。ゲートウェイファームウェアとホストファームウェア (例: Security Setup Utility (SSU) と Plantweb Insight) の互換性をインストール前に確認してください。

2 パソコンの要件

2.1 オペレーティング システム（オプション ソフトウェアのみ）

セキュリティ設定では、Microsoft® がサポートする Windows™ オペレーティング システムであれば可。例をいくつか下に挙げています：

- Microsoft Windows Server 2019 (スタンダード版)、サービス パック 2
- Windows 10 Enterprise、サービス パック 1

2.2 用途

ゲートウェイの構成はセキュアなウェブインターフェースを使って行います。次のブラウザの最新版がサポートされています。

- Chrome™ ブラウザ
- Mozilla Firefox®
- Microsoft Edge

2.3 ハードディスク領域

- AMS ワイヤレスコンフィギュレータ: 1.5 GB
- ゲートウェイセットアップ CD: 250 MB

3 初期接続と構成

ゲートウェイを構成するには、コンピュータとゲートウェイのローカルな接続が必要です。

ゲートウェイの電源供給

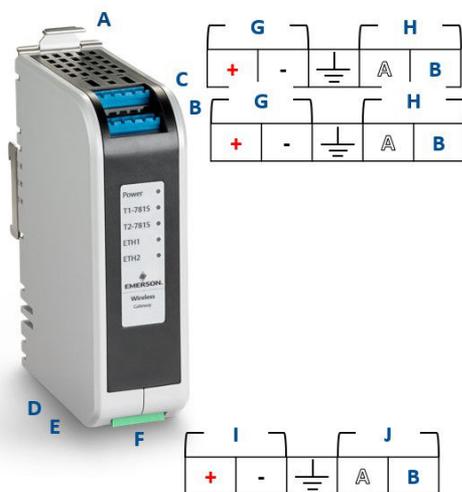
Emerson Wireless 1410S ゲートウェイの場合、10.5~30 VDC 電源を配線してゲートウェイに給電するには、ベンチトップ電源が必要です。

Emerson Wireless 1410S ゲートウェイはパワー・オーバー・イーサネット (PoE) でも給電でき、IEEE 802.3af 規格に準拠しています。

注

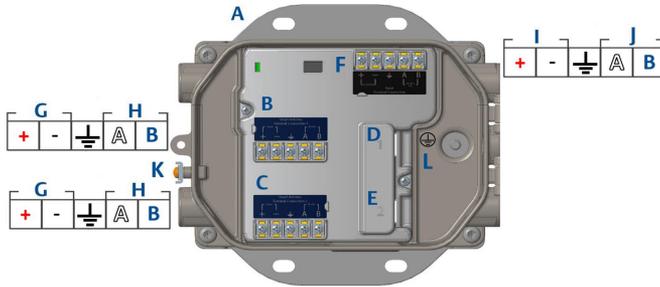
Emerson Wireless 1410S2 ゲートウェイのハードウェアリビジョン 1.0.0 を本質安全防爆出力オプション「A」で構成する場合は、24 VDC 電源でしか給電できません。ハードウェアリビジョンをラベルで確認してください。

図 3-1 : Emerson Wireless 1410S1 ゲートウェイの配線



- A. DIN レールリリースタブ
- B. 781S 端子1 およびデータ接続
- C. 781S 端子2 およびデータ接続
- D. イーサネット ポート1。このポートが作動している場合、出荷時設定IP アドレスは192.168.1.10 です。
- E. イーサネット ポート2。このポートが有効な時、出荷設定IP アドレスは192.168.2.10 です。
- F. Emerson 1410S は電源供給とシリアル接続を提供します。
- G. 781S 電源端子
- H. 781S データ端子
- I. 10.5～30 VDC 電源入力⁽¹⁾
- J. シリアル Modbus

図 3-2 : Emerson Wireless 1410S2 ゲートウェイの配線



- A. 取付けプレート
- B. 781S 端子 1 およびデータ接続
- C. 781S 端子 2 およびデータ接続
- D. イーサネット ポート 1。このポートが作動している場合、出荷時設定 IP アドレスは 192.168.1.10 です。
- E. イーサネット ポート 2。このポートが有効な時、出荷設定 IP アドレスは 192.168.2.10 です。
- F. Emerson 1410S は電源供給とシリアル接続を提供します。
- G. 781S 電源端子
- H. 781S データ端子
- I. 10.5~30 VDC 電源入力¹⁾
- J. シリアル Modbus
- K. 外部接地端子
- L. 内部接地端子

▲ 警告

Emerson Wireless 1410S2 ゲートウェイのコンジット/ケーブル入口

伝送器—ハウジングのコンジット/ケーブル導入口は、 $\frac{1}{2}$ ~14 NPT ねじ形状を使用してください。危険区域に設置する場合、ケーブル/コンジット導入口には、適切ナリストに掲載された、あるいは Ex 認証済みプラグ、グランド、アダプタのみを使用してください。

設置業者は、外部コンジット/ケーブル取付具の定格がタイプ 4X 以上 (C22.2 No 94.2/UL 50E の要件) であることを確認してください。

(1) Emerson Wireless 1410S2 ゲートウェイのハードウェアリビジョン 1.0.0 を本質安全防爆出力オプション「A」で構成する場合は、24 VDC 電源でしか給電できません。ハードウェアリビジョンをラベルで確認してください。

3.1 接続の確率

PC/ノートパソコンをゲートウェイのイーサネット 1 (プライマリ) コンセントにイーサネットケーブルで接続します。

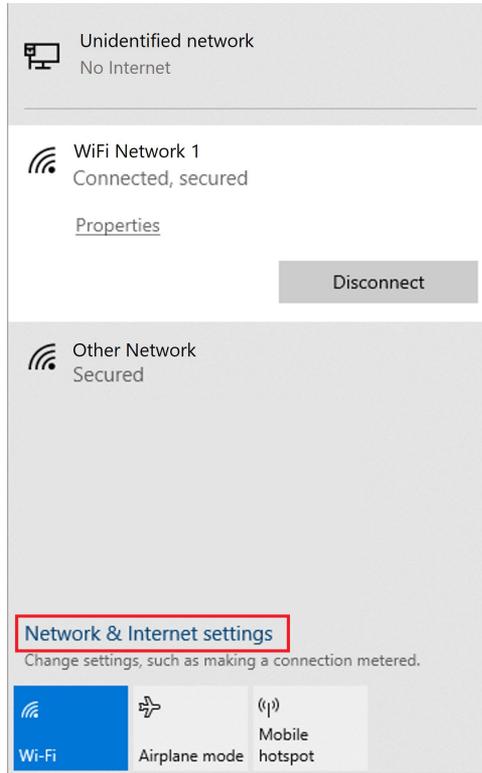
DeltaV 対応ゲートウェイの場合は、ゲートウェイを最初に Deltav システムに対して動作させてください。ユーザ情報の更新については、第 3.5 項に進んでください。DeltaV 対応ゲートウェイの場合は、第 3.2 - 3.4 項を省略できます。

3.2 Windows 10

手順

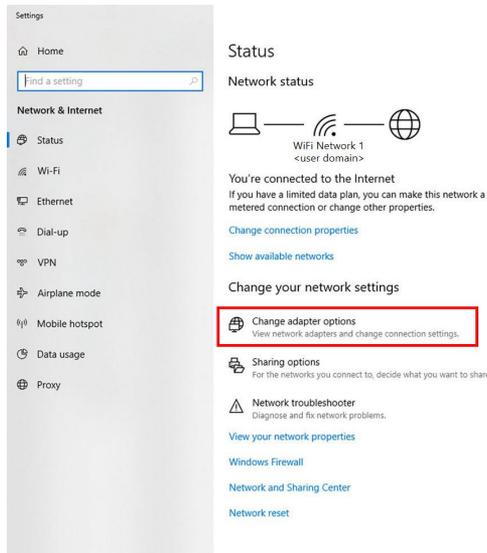
1. Windows 10 ワークスペースの右下にあるネットワークアイコンを選択します。
2. **Network & Internet Settings (ネットワークとインターネットの設定)** リンクを選択します。

図 3-3 : WiFi 接続メニュー



3. **Change adapter options (アダプタオプションの変更)**を選択します。

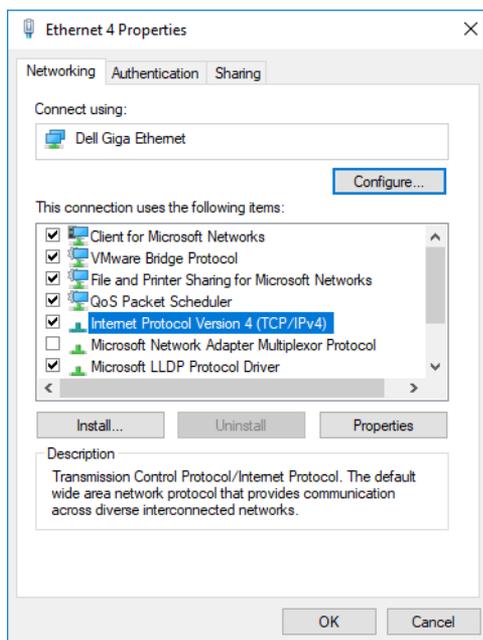
図 3-4: ネットワークとインターネットの設定



4. ゲートウェイが接続されているネットワークインターフェース接続を右クリックして、**Properties (プロパティ)**を選択します。

5. **Internet Protocol Version 4 (TCP/IPv4) (インターネット・プロトコル・バージョン 4 [(TCP/IPv4)] → Properties (プロパティ)**を選択します。

図 3-5 : イーサネットのプロパティ

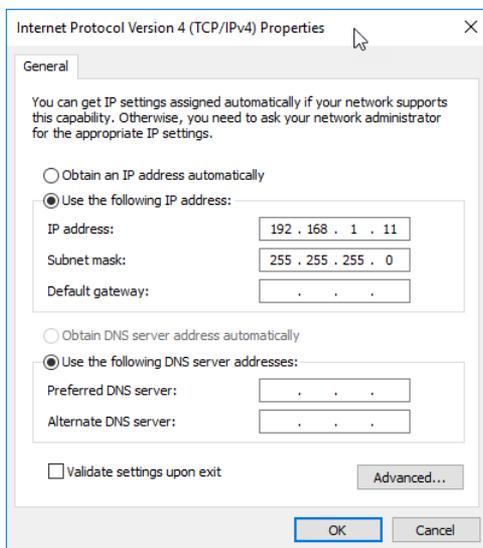


注

Pc/ノートパソコンが別のネットワークから接続されている場合、現在の IP アドレスおよびその他の設定を記録しておき、ゲートウェイの構成完了後に元のネットワークに戻せるようにしておきます。

6. **Use the following IP address (次の IP アドレスを使う)** ボタンを選択します。

図 3-6: IP アドレスのプロパティ



7. **IP Address (IP アドレス)** フィールドに 192.168.1.11 と入力します。
8. **Subnet mask (サブネット マスク)** フィールドに 255.255.255.0 と入力します。
9. **OK** を **Internet Protocol (TCP/IP) Properties (インターネット プロトコル (TCP/IP) のプロパティ)** ウィンドウおよび **Local Area Connection Properties (ローカル エリアの接続プロパティ)** ウィンドウの両方で選択します。

注

ゲートウェイのセカンダリ・イーサネット・ポートに接続するには、異なるネットワーク設定が必要です。

表 3-1: ネットワーク設定

イーサネット	ゲートウェイ	PC/ノートパソコン/タブレット	サブネット
1	192.168.1.10	192.168.1.11	255.255.255.0
2	192.168.2.10	192.168.2.11	

3.3 プロキシの無効化

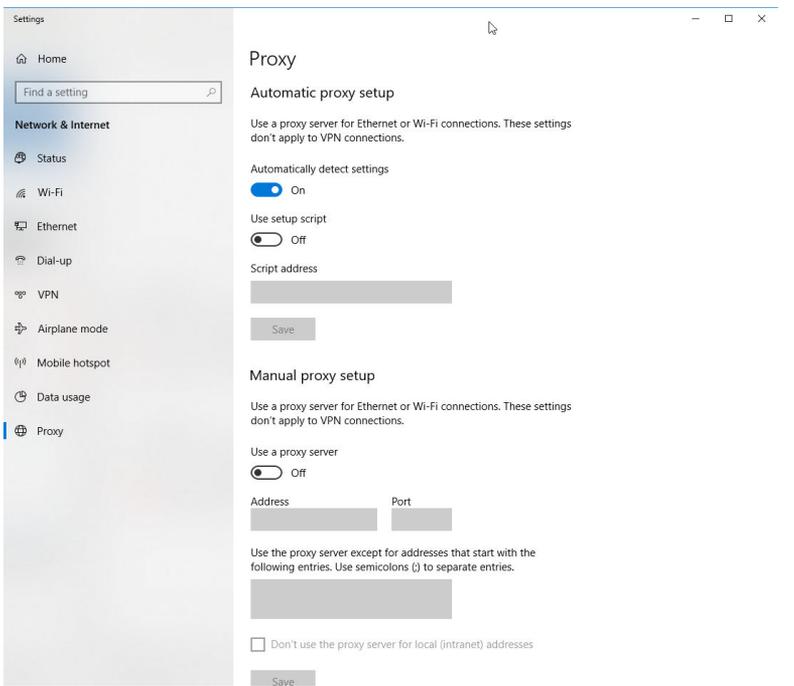
Chrome ブラウザを Windows オペレーティングシステムで使用する場合、この手順が必要になることがあります。

手順

1. ウェブ ブラウザを開きます。
2. **Settings (設定)** → **Advanced (詳細)** に移動します。
3. System (システム) セクションの **Open proxy settings (プロキシ設定を開く)** をクリックします。

例

図 3-7 : Proxy settings (プロキシ設定) メニュー。プロキシが必要な場合にのみ使用してください。



3.4 ゲートウェイの構成

ゲートウェイの初期構成を完了させるためには以下の手順に従ってください。これは両方のネットワークで実施されなくてはなりません。

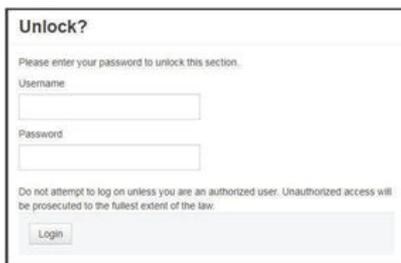
手順

1. ゲートウェイのデフォルトのウェブページ ([https:// 192.168.1.10](https://192.168.1.10)) にアクセスします。
 - a) 次のユーザ名でログインします：**admin**
 - b) パスワードに **default** と入力します

注

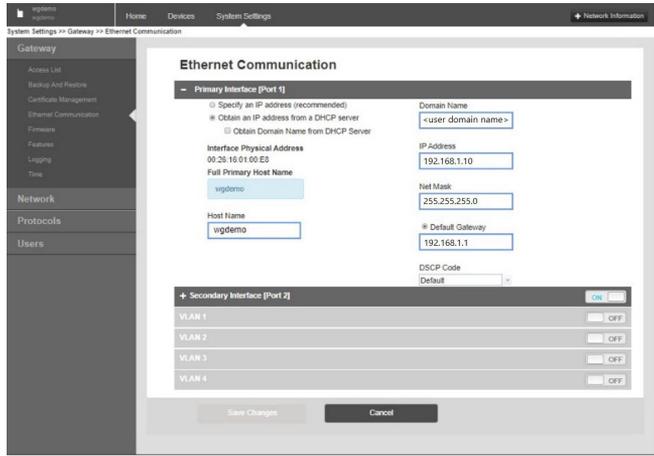
ゲートウェイが適切に接続されると、セキュリティ証明書のアラートがウェブブラウザに表示されます。ゲートウェイ・ウェブ・インターフェースに進んで、次のデフォルトの認証情報を使ってログインします。パスワードは、初回サインイン後に変更してください。ユーザ名とパスワードの変更方法については、第 3.5 項を参照してください。

図 3-8 : ユーザ名およびパスワード



2. **System Settings (システム設定)** → **Gateway (ゲートウェイ)** → **Ethernet Communication (イーサネット通信)** に移動して **Network Settings (ネットワーク設定)** を開きます。
 - a) 静的 IP アドレスを構成するか、DHCP の設定をしてホスト名を入力します。

図 3-9 : イーサネット通信

**注**

ユーザが IP アドレスを定義する必要があります。IP アドレスの例については、[図 3-9](#) を参照してください。

- b) **System Settings (システム設定) → Gateway (ゲートウェイ) → Backup and Restore (バックアップとリストア) → Restart Apps (アプリケーション再起動)**でアプリケーションを再起動します。

注

アプリケーションの再設定により、一時的にフィールド機器との通信が無効になります。

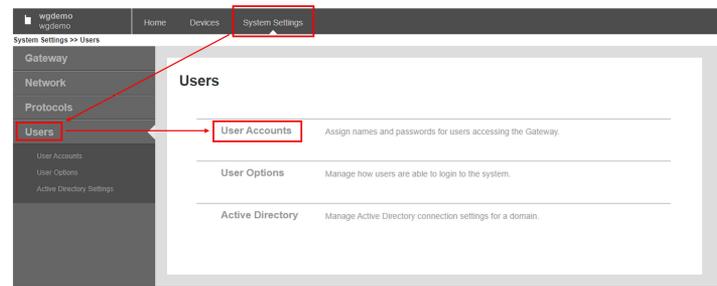
3. ゲートウェイから電源とイーサネット ケーブルを取り外します。

3.5 ユーザ名とパスワードの変更

手順

- System Settings (システム設定) → Users (ユーザ) → User Accounts (ユーザアカウント)**に移動し、次のステップに従ってパスワードを変更し、ユーザを追加します。
 - DeltaV 対応ゲートウェイの場合は、DeltaV Explorer からゲートウェイ・ウェブ・インターフェースにアクセスしてください。
- 管理者、オペレータ、保守、幹部層のパスワードを、ユーザのパスワード要件に従ったセキュアなパスワードに変更します。

図 3-10 : User Accounts (ユーザアカウント) ページへの移動



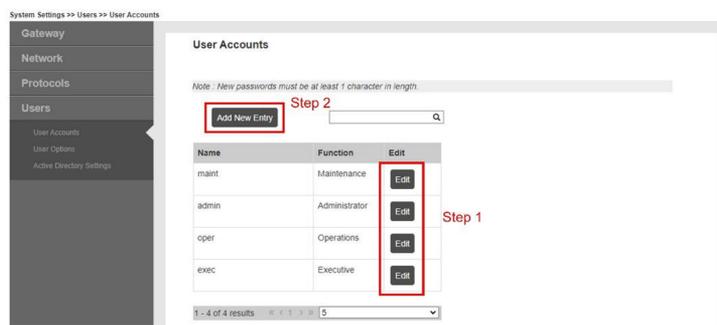
通知

ゲートウェイを設置してフルに使用する前に、パスワードを変更することを**強く推奨**します。

警告

パスワードを忘れた場合、再取得することはできません。認証情報が分からなくなったゲートウェイにアクセスするには、ゲートウェイを工場出荷時の状態にリセットするしかありません。工場出荷時の状態にリセットすると、ユーザ設定がすべて消去されます。

図 3-11 : User Accounts (ユーザアカウント) ページでのパスワードの変更



4 物理的な設置

4.1 Emerson 1410S の取付け

ホスト・システム・ネットワーク(プロセス管理ネットワーク)にゲートウェイがアクセスしやすい場所を見つけます。

4.1.1 1401S1 DIN レール取付け

Emerson Wireless 1410S1 ゲートウェイは DIN TS35/7.5 または TS35/15 レールシステムにカチッと留めることができます。ゲートウェイを DIN レール上にクリップ留めするには、[図 4-1](#) を参照してください。

前提条件

- ゲートウェイを取り付けるための DIN レール
- Emerson Wireless 1410S1 ゲートウェイ

手順

1. ゲートウェイの上部リリースタブを押し下げて取付クリップを外します。
2. DIN レール上部にある歯の位置を調整し、下部の歯を DIN レールの底部に回転させます。
3. 上部タブを解放してゲートウェイを DIN レールに固定します。
4. 取り外す場合は、上部タブを押し下げてゲートウェイを DIN レールから外します。

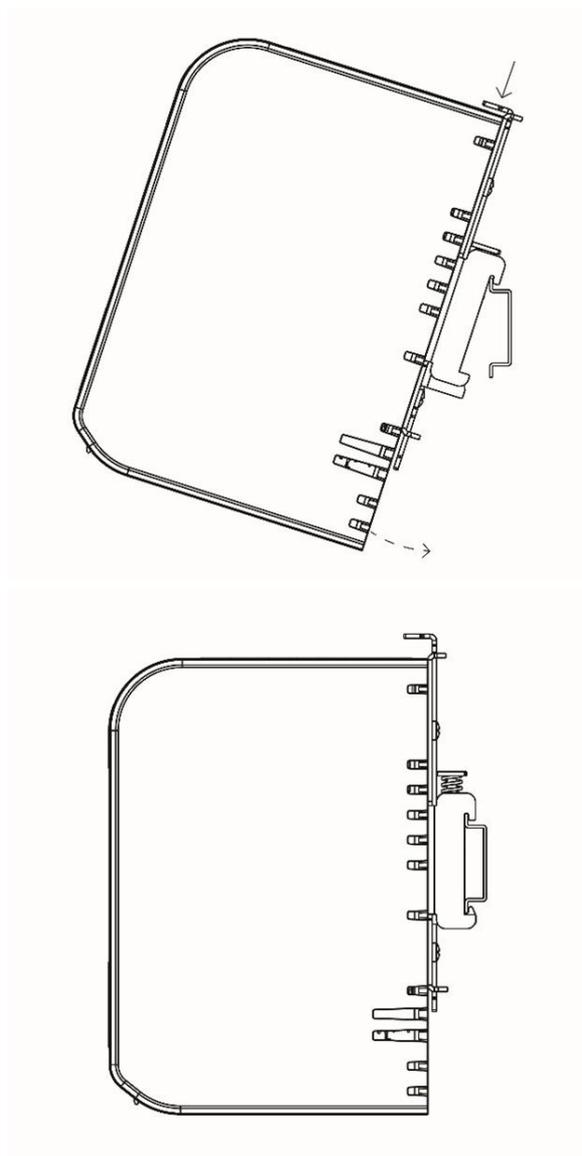
通知

ユニットを電子機器筐体またはそのほかの場所に取り付ける際は、地域および国の設置規定に従います。設置の施工者、関連するハードウェア、使用される設置機器が実施される特定の種類の設置について適切な認証を有していることを確認します。設置前に、地域の規定が電力投入前に許可証および／または点検を必要とするかどうかを確認します。設置の計画を立てる際は、エンクロージャー内でのアンテナケーブル配線の取り回しを考慮します。

注

アンテナは金属製のエンクロージャ内に取り付けないでください。精密な RF コンポーネントへの損傷を防ぐため、アンテナの設置準備が整うまでゲートウェイの SMA コネクタから保護キャップを取り外さないでください。

図 4-1 : Emerson 1410S1 の取付け



4.1.2 1410S2 パイプ取付け

前提条件

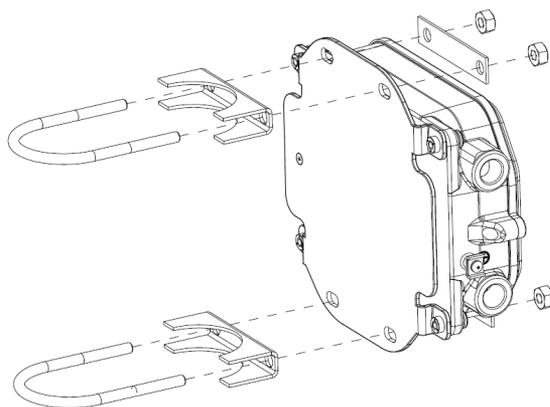
ゲートウェイを 20 インチ管に取り付けるには、次の金具類が必要です。

- 5/16 インチ U 字形ボルトキット×2 (ゲートウェイに同梱されています)
- 2 インチの取付けパイプ
- 1/2 インチのレンチ

手順

1. ゲートウェイ取付プレートの上にある穴とワッシャープレートにパイプを通し、U 字形ボルトをパイプを囲む形で取付けます。
2. 1/2 インチレンチを使って U 字形ボルトにナットを固定します。
3. 2 本目の U 字形ボルトと下部の取付け穴で同じ手順を繰り返します。

図 4-2 : Emerson 1410S2 の取付け



4.1.3 1410S2 表面取付け

ゲートウェイを支持ブラケットに取り付けるには、次の金具類が必要です。

前提条件

- 選択した取付方法に合った適切なファスナー×4
- 取付けプレート (ゲートウェイに同梱されています)
- ドリル (付属していません)

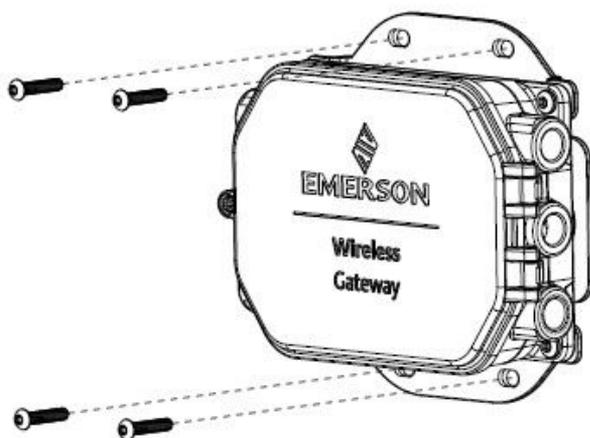
- レンチ (付属していません)

次の手順でゲートウェイを取り付けます。

手順

図 4-3 に示すように、ゲートウェイを表面に取り付けます。例に示すようにネジを締めます。

図 4-3 : Emerson 1410S2 表面取付け



4.2 電源と 781S スマートアンテナへの Emerson 1410S の配線

前提条件

- 適合するケーブル
- ねじ回し
- 電線ストリッパー
- Emerson Wireless 1410S1 ゲートウェイの場合、コネクタには、最終設置場所の周囲温度要件を満たす 12~30 AWG ケーブルが必要です。コネクタのネジは 4.4~5.3 in-lbs のトルクで締め付ける必要があります。
- Emerson Wireless 1410S2 ゲートウェイの場合、側板の内部アンテナ端子接続には、14 AWG 以下のケーブルが必要です。ケーブルの周囲温度定格は 100 °C である必要があります。端子ネジは取付時には 7 in-lbs のトルク、最大 10 in-lbs のトルクで固定します。
- 内部接地と外部接地の場合、ネジは 7 in-lbs のトルクで取り付ける必要があります。

4.2.1 Emerson Wireless 1410S ゲートウェイへの電源の接続

手順

1. 少なくとも 0.14 インチ (3.5 mm) 分、絶縁体をはぎとってください。
2. プラス線とマイナス線を 1410S ゲートウェイの適切な端子に接続します (図 4-4 と 図 4-5 の配線図を参照)。

4.2.2 Emerson 1410S ゲートウェイへの 781S アンテナの接続

前提条件

781S には、最長 9 m (30 ft) の Belden 3084A ケーブルが付属しています。さらにケーブルが必要な場合は、適合する端子を備えたフィールド接続箱とシールド付きツイストペアケーブル (Belden 3084A など) を用意する必要があります。ケーブルの推奨仕様は、周囲温度定格 100°C 以上、18~24 AWG です。

1410S と 781S 間の最長ケーブルは、これらのケーブル仕様に従った 400 m (1312 ft) です。

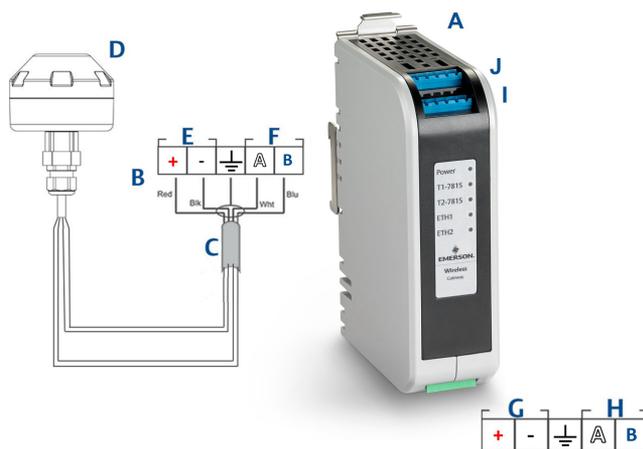
手順

1. 少なくとも 0.14 インチ (3.5 mm) 分、絶縁体をはぎとってください。
2. 781S スマートアンテナのワイヤを Emerson 1410S ゲートウェイの適切な端子に接続します (図 4-4 と 図 4-5 の配線図を参照)。

注

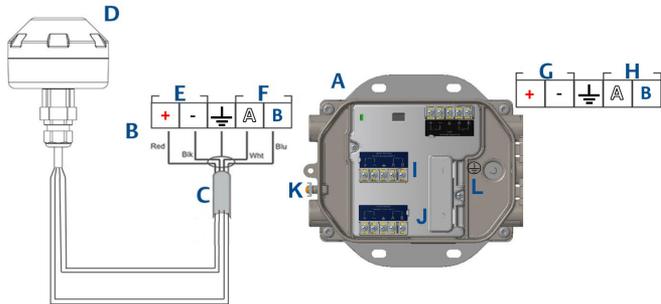
781S シールドをゲートウェイに接続する必要があります。

図 4-4 : Emerson 1410S1 と 781S スマートアンテナの配線図



- A. Emerson Wireless 1410S1 ゲートウェイ
- B. 端子接続
- C. シールド付きツイストペアケーブル
- D. Emerson Wireless 781S Smart Antenna
- E. 781S 電源端子
- F. 781S データ端子
- G. 10.5 から 30 VDC 電源入力
- H. シリアル Modbus
- I. 781S 端子 1 およびデータ接続
- J. 781S 端子 2 およびデータ接続⁽³⁾

図 4-5 : Emerson 1410S2 と 781S スマートアンテナの配線図



- A. Emerson Wireless 1410S2 ゲートウェイ
- B. 端子接続
- C. シールド付きツイストペアケーブル
- D. Emerson Wireless 781S Smart Antenna
- E. 781S 電源端子
- F. 781S データ端子
- G. 10.5 ~ 30 VDC 電源入力⁽²⁾
- H. シリアル Modbus
- I. 781S 端子 1 およびデータ接続
- J. 781S 端子 2 およびデータ接続⁽³⁾
- K. 外部接地端子
- L. 内部接地端子

注

ワイヤの色は、典型的な Belden 3084a または同等品の色と同じです。

(2) Emerson Wireless 1410S2 ゲートウェイのハードウェアリビジョン1.0.0 を本質安全防爆出力オプション「A」で構成する場合は、24 VDC 電源でしか給電できません。ハードウェアリビジョンをラベルで確認してください。

(3) 2 つ目のアンテナを端子 2 に接続できます。配線は端子 1 アンテナと同じです。

4.3 Emerson 1410S の接地

4.3.1 Emerson 1410S1 の接地

Emerson Wireless 1410S1 ゲートウェイは、ゲートウェイ背面の DIN レール取付けプレートを使って接地します。DIN レールは必ず、国および地方の電気関連の規則に従って接地する必要があります。ゲートウェイの取付けプレートと DIN レール間を適切に接触させて接地してください。

4.3.2 Emerson 1410S2 の接地

ゲートウェイの筐体は、国および地域の電気工事規定の内部または外部接地の規定に必ず従って接地してください。最も効果的な接地方法は、最小インピーダンスで接地に直接接続することです。接地は、11AWG より大きい導体で接続します。接地ネジがしっかり締められていることを確認してください。内部接地と外部接地のネジは 7 in-lbs のトルクで取り付ける必要があります。接続は 1Ω 以下とします。内部接地端子と外部接地端子の特定については、上の [図 4-5](#) の配線図を参照してください。



注

ケーブルが最終設置場所の周囲温度の定格であることを必ず確認してください。

4.4 終端抵抗

終端とシリアル Modbus 接続のバイアス抵抗器を作動させるための DIP スイッチが 3 つ提供されています。

詳細については、『[1410S リファレンスマニュアル](#)』を参照してください。

4.5 ホストシステムへの接続

ゲートウェイのイーサネット 1 (プライマリ) またはシリアル Modbus 出力接続部をホスト・システム・ネットワークまたはシリアル I/O に接続します。

ホスト接続のその他の手順については、『[1410S リファレンスマニュアル](#)』を参照してください。

4.6 ベストプラクティス

シールド付きツイストペアケーブルは通常、シリアル接続の配線に使用され、シリアルのホスト側でシールドを接地して、ゲートウェイ側でシールドを浮かせた状態にしておくことが標準的なプラクティスとなっています。接地の問題を避けるため、シールドは絶縁します。

4.6.1 セキュリティのベストプラクティス

セキュリティのベストプラクティスについては、Emerson ワイヤレスセキュリティのホワイトペーパーを参照してください。ご使用のシステムおよび当該システムにインストールされている製品のセキュリティについては、ユーザ側が一切の責任を負うものとします。ユーザの製品とサイバーセキュリティのポリシーのほか、これらの推奨事項に従ってください。

5 ソフトウェアのインストール (任意)

Security Setup Utility (セキュアなホスト接続または OPC-DA 通信用のみに必要) と **AMS Wireless Configurator** を必要に応じてインストールします。詳細については、[リファレンスマニュアル](#)を参照してください。

ゲートウェイファームウェアは、ホスト接続との互換性が必要です。ゲートウェイファームウェアとホストファームウェア (例: Security Setup Utility (SSU) と Plantweb Insight) の互換性をインストール前に確認してください。

6 動作の検証

動作の確認は、ホスト・システム・ネットワーク上の任意のパソコンからウェブブラウザを開き、ゲートウェイの IP アドレス、または DHCP ホスト名をアドレスバーに入力してウェブインターフェースで行うことができます。

第 3.5 項の認証情報を使ってログインします。

手順

1. 各ネットワークで使用するフィールド機器に**ネットワーク Id と結合キー**と**結合キー** (ゲートウェイの Network Settings (ネットワーク設定) ページを参照) があることを確認してください。
2. フィールド機器がネットワークに参加していて、ゲートウェイのウェブインターフェースの Devices (機器) ページに表示されていることを確認してください。
3. ホストシステムがフィールド機器のデータを受信していることを確認してください。

7 製品認証

7.1 Emerson Wireless 1410S1 ゲートウェイ

改訂 1.3 版

7.1.1 欧州指令に関する情報

EU 適合宣言書の写しは、クイック・スタート・ガイドの最後にあります。最新の EU 指令適合宣言書は [Emerson.com](https://www.emerson.com) を参照してください。

7.1.2 通常使用区域に関連する認証

電源モジュールは標準として、連邦労働安全衛生局 (OSHA) の認定を受けた国家認定試験機関 (NRTL) によって、設計が基本的な電氣的、機械的、および防火要件を満たしていることを確認するための検査および試験が実施されています。

7.1.3 北米での機器の設置

米国電気工事規程® (NEC) およびカナダ電気工事規定 (CEC) は、Division のマークが付いた機器を Zone で使用すること、および Zone のマークが付いた機器を Division で使用することを許可しています。これらのマークは領域分類、ガス、温度クラスに適している必要があります。この情報はそれぞれの規程で明確に定義されています。

7.1.4 米国

N5 米国 Division 2、本質安全防爆出力

証明書	80009647 (CSA)
規格	UL 60079-0: 2019、UL 60079-7: 2017、UL 60079-11: 2014、FM 3600: 2011、FM 3610:2018、FM 3611:2004、FM 3616:2011、UL 61010-1-12 第 3 版
Division 1 または Zone 0 への本質安全防爆のマーク	Class I Division 2, Groups A, B, C, D; Class I, II, III, Division 1, Groups A, B, C, D, E, F, G への本質安全出力; Class I, Zone 2 AEx ec [ia Ga] IIC T4 Gc
Division 2 または Zone 2 への本質安全防爆のマーク	Class I Division 2, Groups A, B, C, D; Class I, II, III, Division 2, Groups A, B, C, D, F, G への本質安全出力; Class I, Zone 2 AEx ec [ic] IIC T4 Gc
Zone 21 への本質安全出力のマーク	Class 1 Zone 2, AEx ec [ia IIIC Db] IIC T4 Gc;

Zone 22 への本質安全出力のマーク Class 1 Zone 2, AEx ec [ic IIIC Dc] IIC T4 Gc;

温度コード T4(-40 °C ≤ T_a ≤ 70 °C)

安全な使用のための特別条件 (X)

1. 警告: 静電帯電が生じる危険 - 説明を参照してください。
2. 警告: 本装置には UL 60079-7:2017 の第 6.1 条、および UL 60079-11:2014 の第 6.3.13 に定義された 500 V の絶縁耐圧試験の耐性はありません。設置する際はこの点に注意してください。
3. 1410S1 には、UL 60079-0 の要件を満たす外部 IP54 が必要です。

7.1.5 カナダ

N6 カナダ Division 2、本質安全防爆出力

証明書 80009647 (CSA)

規格 CAN/CSA C22.2 No 60079-0:2019、CAN/CSA C22.2 No 60079-7:2016、CAN/CSA C22.2 No 60079-11:2014、CAN/CSA C22.2 No.25:2014、CAN/CSA C22.2 No.61010-1-12 第 3 版

Division 1 または Zone 0 への本質安全防爆のマーク Class I Division 2, Groups A, B, C, D; Class I, II, III, Division 1, Groups A, B, C, D, E, F, G への本質安全出力; Class I, Zone 2 Ex ec [ia Ga] IIC T4 Gc

Division 2 または Zone 2 への本質安全防爆のマーク Class I Division 2, Groups A, B, C, D; Class I, II, III, Division 2, Groups A, B, C, D, F, G への本質安全出力; Class I, Zone 2 Ex ec [ic] IIC T4 Gc

Zone 21 への本質安全出力のマーク Ex ec [ia IIIC Db] IIC T4 Gc;

Zone 22 への本質安全出力のマーク Ex ec [ic IIIC Dc] IIC T4 Gc;

温度コード T4(-40 °C ≤ T_a ≤ 70 °C)

安全な使用のための特別条件 (X)

1. 警告: 静電帯電が生じる危険 - 説明を参照してください。
AVERTISSEMENT - RISQUE D'EXPLOSION.NE PAS DÉBRANCHER PENDANT QUE LE CIRCUIT EST SOUS TENSION.
2. 警告: 本装置には CAN/CSA 60079-7:2016 の第 6.1 条、および CAN/CSA 60079-11:2014 の第 6.3.13 に定義された 500 V の絶縁耐圧試験の耐性はありません。設置する際はこの点に注意してください。

Avertissement: L'équipement n'est pas capable de résister au test de résistance électrique de 500V tel que défini dans la clause 6.1 de CAN / CSA 60079-7:2016 et 6.3.13 de CAN / CSA 60079-11:2014. Ceci doit être pris en compte lors de l'installation.

3. 1410S1 には、CAN/CSA 60079-0 の要件を満たす外部 IP54 が必要です。

Le 1410S1 a besoin d'un IP54 externe qui répond aux exigences de CAN/CSA 60079-0.

7.1.6 ATEX/UKEX

N1 ATEX/UKEX Zone 2、本質安全防爆出力

証明書	CSANe 22ATEX1078X、CSAE 22UKEX1224X、CSANe 22ATEX1140X、CSAE 22UKEX1307X
規格	EN IEC 60079-0: 2018、EN 60079-7: 2015/A1:2018、EN 60079-11: 2012
Zone 0 への本質安全のマーク	Ex ec [ia Ga] IIC T4 Gc;
Division 2 または Zone 2 への本質安全防爆のマーク	Ex ec [ic] IIC T4 Gc;
Zone 21 への本質安全出力のマーク	Ex ec [ia IIIC Db] IIC T4 Gc;
Zone 22 への本質安全出力のマーク	Ex ec [ic IIIC Dc] IIC T4 Gc;
温度コード	T4(-40 °C ≤ T _a ≤ 70 °C)

安全な使用のための特別条件 (X)

1. 設置「ic」、Um は 30 Vdc と定義されています。1410S1 は SELV/PELV 電源でのみ電力供給できます。
2. 1410S1 は IS 出力から接地への 500 Vac 要件に耐えられません。
3. 1410S1 には、EN IEC 60079-0:2018 の要件を満たす外部 IP54 が必要です。

7.1.7 IECEx

N7 IECEx Zone 2、本質安全防爆出力

証明書	IECEx CSAE 22.0044X
規格	IEC 60079-0:2017、IEC 60079-7:2015、IEC 60079-11:2011
Zone 0 への本質安全のマーク	Ex ec [ia Ga] IIC T4 Gc;

Division 2 または Zone 2 への本質安全防爆のマーク	Ex ec [ic] IIC T4 Gc;
Zone 21 への本質安全出力のマーク	Ex ec [ia IIIC Db] IIC T4 Gc;
Zone 22 への本質安全出力のマーク	Ex ec [ic IIIC Dc] IIC T4 Gc;
温度コード	T4(-40 °C ≤ T _a ≤ 70 °C)

安全な使用のための特別条件 (X)

1. 設置「ic」、Um は 30 Vdc と定義されています。1410S1 は SELV/PELV 電源でのみ電力供給できます。
2. 1410S1 は IS 出力から接地への 500 Vac 要件に耐えられません。
3. 1410S1 には、EN IEC 60079-0:2018 の要件を満たす外部 IP54 が必要です。

7.2 Emerson Wireless 1410S2 ゲートウェイ

改訂: 3.0

7.2.1 欧州指令に関する情報

EU 適合宣言書の写しは、クイック・スタート・ガイドの最後にあります。最新の EU 指令適合宣言書は [Emerson.com](https://www.emerson.com) を参照してください。

7.2.2 通常使用区域に関連する認証

電源モジュールは標準として、連邦労働安全衛生局 (OSHA) の認定を受けた国家認定試験機関 (NRTL) によって、設計が基本的な電氣的、機械的、および防火要件を満たしていることを確認するための検査および試験が実施されています。

7.2.3 北米での機器の設置

米国電気工事規程® (NEC) およびカナダ電気工事規定 (CEC) は、Division のマークが付いた機器を Zone で使用すること、および Zone のマークが付いた機器を Division で使用することを許可しています。これらのマークは領域分類、ガス、温度クラスに適している必要があります。この情報はそれぞれの規程で明確に定義されています。

7.2.4 米国

N5 米国 Division 2、本質安全防爆出力

証明書	80009647 (CSA)
規格	UL 60079-0: 2019、UL 60079-7: 2017、UL 60079-11: 2014、UL 60079-31: 2015、FM 3600: 2011、FM 3610:2018、FM 3611:2004、FM 3616:2011、UL 61010-1-12 第 3 版
Division 1 または Zone 0 への本質安全防爆出力のマーク	Class I, II, III, Division 2, Groups A, B, C, D, F, G / 本質安全防爆出力: Class I, Division 1, Groups A, B, C, D / Class I, Zone 2 AEx ec [ia Ga] IIC T4 Gc / Class I, Class II, Zone 22 AEx tc [ia Ga] IIIC T90 Dc
Division 2 または Zone 2 への本質安全防爆のマーク	Class I, II, III, Division 2, Groups A, B, C, D, F, G / 本質安全防爆出力: Class I, Division 2, Groups A, B, C, D / Class I, Zone 2 AEx ec [ic] IIC T4 Gc / Class II, Zone 22 AEx tc [ic Gc] IIIC T90 Dc
温度コード	Rev 1 (-40 °C ≤ T _a ≤ 65 °C), Rev 2 T4 (-40 °C ≤ T _a ≤ 70 °C)

安全に使用するための特別条件 (X) :

1. 警告: 静電帯電が生じる危険 - 説明を参照してください。

2. 警告: 本装置には UL 60079-7:2017 の第 6.1 条、および UL 60079-11:2014 の第 6.3.13 に定義された 500 V の絶縁耐圧試験の耐性はありません。設置する際はこの点に注意してください。

7.2.5 カナダ

N6 カナダ Division 2、本質安全防爆出力

証明書	80009647 (CSA)
規格	CAN/CSA C22.2 No 60079-0:2019, CAN/CSA C22.2 No 60079-7:2016、CAN/CSA C22.2 No 60079-11:2014、CAN/CSA C22.2 No 60079-31:2016、CAN/CSA C22.2 No.25:2014、CAN/CSA C22.2 No.61010-1-12 第 3 版
Division 1 または Zone 0 への本質安全防爆出力のマーク	Class I, II, III, Division 2, Groups A, B, C, D, F, G / 本質安全防爆出力: Class I, Division 1, Groups A, B, C, D / Class I, Zone 2 Ex ec [ia Ga] IIC T4 Gc / Class II, Zone 22 Ex tc [ia Ga] IIIC T90 Dc
Division 2 または Zone 2 への本質安全防爆出力のマーク	Class I, II, III, Division 2, Groups A, B, C, D, F, G / 本質安全防爆出力: Class I, Division 2, Groups A, B, C, D / Class I, Zone 2 Ex ec [ic] IIC T4 Gc / Class II, Zone 22 Ex tc [ic Gc] IIIC T90 Dc
温度コード	Rev 1 (-40 °C ≤ T _a ≤ 65 °C), T4 (-40 °C ≤ T _a ≤ 70 °C)

安全に使用するための特別条件 (X) :

1. 警告: 静電帯電が生じる危険 - 説明を参照してください。
AVERTISSEMENT - RISQUE D'EXPLOSION.NE PAS DÉBRANCHER PENDANT QUE LE CIRCUIT EST SOUS TENSION.
2. 警告: 本装置には CAN/CSA 60079-7:2016 の第 6.1 条、および CAN/CSA 60079-11:2014 の第 6.3.13 に定義された 500 V の絶縁耐圧試験の耐性はありません。設置する際はこの点に注意してください。
Avertissement: L'équipement n'est pas capable de résister au test de résistance électrique de 500V tel que défini dans la clause 6.1 de CAN / CSA 60079-7:2016 et 6.3.13 de CAN / CSA 60079-11:2014.Ceci doit être pris en compte lors de l'installation.

7.2.6 欧州

N1 ATEX ゾーン 0 まで本質安全防爆出力で安全性増加

証明書	SGS20ATEX0036X
マーク	Ⓔ II 3(1)G Ex ec [ia Ga] IIC T4 Gc (-40 °C ≤ T _a ≤ +65 °C)

規格 EN IEC 60079-0: 2018、EN IEC 60079-7:2015+A1:2018、EN 60079-11: 2012、EN 60079-15:2010、EN 60079-31:2014

N1 ATEX ゾーン 0 まで本質安全防爆出力で安全性増加 (Cisco Outdoor Access Point 型番 IW-6300H-AC-x-K9 との使用のみ)

証明書 SGS20ATEX0036X

マーク  II 3(1)G Ex ec nA [ia Ga] IIC T4 Gc (-40 °C ≤ T_a ≤ +65 °C)

規格 EN IEC 60079-0: 2018、EN IEC 60079-7:2015+A1:2018、EN 60079-11: 2012、EN 60079-15:2010、EN 60079-31:2014

安全に使用するための特別条件 (X) :

1. ハウジングのポリウレタン塗装仕上げは静電放出の危険につながる場合があります。そのような表面の静電気帯電に対して伝導性のある外的状況から筐体を保護するように注意してください。また、装置は湿らせた布でのみ清掃するようにしてください。
2. 装置には EN 60079-7:2015+ A1:2018 の条項 6.1 および 6.3.13 EN 60079-11:2012 に定義された 500V の絶縁耐圧試験の耐性はありません。設置する際はこの点に注意してください。

N1 ATEX ゾーン 2 まで本質安全防爆出力で安全性増加

証明書 SGS20ATEX0057X

マーク  II 3G Ex ec [ic] IIC T4 Gc (-40 °C ≤ T_a ≤ +65 °C)

規格 EN IEC 60079-0: 2018、EN IEC 60079-7:2015+A1:2018、EN 60079-11: 2012、EN 60079-15:2010、EN 60079-31:2014

N1 ATEX ゾーン 2 まで本質安全防爆出力で安全性増加 (Cisco Outdoor Access Point 型番 IW-6300H-AC-x-K9 との使用のみ)

証明書 SGS20ATEX0057X

マーク  II 3G Ex ec nA [ic] IIC T4 Gc (-40 °C ≤ T_a ≤ +65 °C)

規格 EN IEC 60079-0: 2018、EN IEC 60079-7:2015+A1:2018、EN 60079-11: 2012、EN 60079-15:2010、EN 60079-31:2014

安全に使用するための特別条件 (X) :

1. ハウジングのポリウレタン塗装仕上げは静電放出の危険につながる場合があります。そのような表面の静電気帯電に対して伝導性のある外的状況から筐体を保護するように注意してください。また、装置は湿らせた布でのみ清掃するようにしてください。
2. 本機器の本質的に安全でない電源、Modbus RTU およびイーサネットポート接続には、たとえば IEC 60950 シリーズ、IEC 61010-1

または技術的に同等の標準の要件に準拠する機器などの安全特別低電圧 (SELV) または 保護特別低電圧 (PELV) 回路から電力が供給されなくてはなりません。

3. 装置には EN 60079-7:2015+ A1:2018 の条項 6.1 および 6.3.13 EN 60079-11:2012 に定義された 500V の絶縁耐圧試験の耐性はありません。設置する際はこの点に注意してください。

ゾーン 0 までの本質安全防爆出力を備えた ND ATEX 粉塵着火防止

証明書 SGS20ATEX0036X

マーク  II 3D (1G) Ex tc [ia IIC Ga] IIIC T90 °C Dc (-40 °C ≤ T_a ≤ +65 °C)

規格 EN IEC 60079-0: 2018、EN IEC 60079-7:2015+A1:2018、EN 60079-11: 2012、EN 60079-15:2010、EN 60079-31:2014

安全に使用するための特別条件 (X) :

- 1.ハウジングのポリウレタン塗装仕上げは静電放出の危険につながる場合があります。そのような表面の静電気帯電に対して伝導性のある外的状況から筐体を保護するように注意してください。また、装置は湿らせた布でのみ清掃するようにしてください。
2. 装置には EN 60079-7:2015+ A1:2018 の条項 6.1 および 6.3.13 EN 60079-11:2012 に定義された 500V の絶縁耐圧試験の耐性はありません。設置する際はこの点に注意してください。

ゾーン 2 までの本質安全防爆出力を備えた ND ATEX 粉塵着火防止

証明書 SGS20ATEX0036X

マーク  II 3D (3G) Ex tc [ic IIC Gc] IIIC T90 °C Dc (-40 °C ≤ T_a ≤ +65 °C)

規格 EN IEC 60079-0: 2018、EN IEC 60079-7:2015+A1:2018、EN 60079-11: 2012、EN 60079-15:2010、EN 60079-31:2014

安全に使用するための特別条件 (X) :

- 1.ハウジングのポリウレタン塗装仕上げは静電放出の危険につながる場合があります。そのような表面の静電気帯電に対して伝導性のある外的状況から筐体を保護するように注意してください。また、装置は湿らせた布でのみ清掃するようにしてください。
2. 本機器の本質的に安全でない電源、Modbus RTU およびイーサネットポート接続には、たとえば IEC 60950 シリーズ、IEC 61010-1 または技術的に同等の標準の要件に準拠する機器などの安全特別低電圧 (SELV) または 保護特別低電圧 (PELV) 回路から電力が供給されなくてはなりません。

3. 装置には EN 60079-7:2015+ A1:2018 の条項 6.1 および 6.3.13 EN 60079-11:2012 に 定義された 500V の絶縁耐圧試験の耐性はありません。設置する際はこの点に注意してください。

7.2.7 海外

N7 IECEx ゾーン 0 まで本質安全防爆出力で安全性増加

証明書 IECEx BAS.20.0022X

マーク Ex ec [ia Ga] IIC T4 Gc (-40 °C ≤ T_a ≤ +65 °C)

規格 IEC 60079-0: 2017、IEC 60079-7:2015+A1:2017、IEC 60079-11: 2011、IEC 60079-15:2017、IEC 60079-31:2013

N7 IECEx ゾーン 0 まで本質安全防爆出力で安全性増加 (Cisco Outdoor Access Point 型番 IW-6300H-AC-x-K9 との使用のみ)

証明書 IECEx BAS.20.0022X

マーク Ex ec nA [ia Ga] IIC T4 Gc (-40 °C ≤ T_a ≤ +65 °C)

規格 IEC 60079-0: 2017、IEC 60079-7:2015+A1:2017、IEC 60079-11: 2011、IEC 60079-15:2017、IEC 60079-31:2013

安全に使用するための特別条件 (X) :

1. ハウジングのポリウレタン塗装仕上げは静電放出の危険につながる場合があります。そのような表面の静電気帯電に対して伝導性のある外的状況から筐体を保護するように注意してください。また、装置は湿らせた布でのみ清掃するようにしてください。
2. 装置には EN 60079-7:2015+ A1:2018 の条項 6.1 および 6.3.13 EN 60079-11:2012 に 定義された 500V の絶縁耐圧試験の耐性はありません。設置する際はこの点に注意してください。

N7 IECEx ゾーン 2 まで本質安全防爆出力で安全性増加

証明書 IECEx BAS.20.0027X

マーク ec [ic] IIC T4 Gc (-40 °C T_a ≤ +65 °C)

規格 IEC 60079-0: 2017、IEC 60079-7:2015+A1:2017、IEC 60079-11: 2011、IEC 60079-15:2017、IEC 60079-31:2013

N7 IECEx ゾーン 2 まで本質安全防爆出力で安全性増加 (Cisco Outdoor Access Point 型番 IW-6300H-AC-x-K9 との使用のみ)

証明書 IECEx BAS.20.0027X

マーク Ex ec nA [ic] IIC T4 Gc (-40 °C ≤ T_a ≤ +65 °C)

規格 IEC 60079-0:2017、IEC 60079-7:2015+A1:2017、IEC 60079-11:2011、IEC 60079-15:2017、IEC 60079-31:2013

安全に使用するための特別条件 (X) :

- 1.ハウジングのポリウレタン塗装仕上げは静電放出の危険につながる場合があります。そのような表面の静電気帯電に対して伝導性のある外的状況から筐体を保護するように注意してください。また、装置は湿らせた布でのみ清掃するようにしてください。
- 2.本機器の本質的に安全でない電源、Modbus RTU およびイーサネットポート接続には、たとえば IEC 60950 シリーズ、IEC 61010-1 または技術的に同等の標準の要件に準拠する機器などの安全特別低電圧 (SELV) または 保護特別低電圧 (PELV) 回路から電力が供給されなくてはなりません。
- 3.装置には EN 60079-7:2015+ A1:2018 の条項 6.1 および 6.3.13 EN 60079-11:2012 に 定義された 500V の絶縁耐圧試験の耐性はありません。設置する際はこの点に注意してください。

ゾーン 0 までの本質安全防爆出力を備えた NF IECEx 粉塵着火防止

証明書 IECEx BAS.20.0022X

マーク Ex tc [ia IIC Ga] IIIC T90 °C Dc (-40 °C ≤ T_a ≤ +65 °C)

規格 IEC 60079-0:2017、IEC 60079-7:2015+A1:2017、IEC 60079-11:2011、IEC 60079-15:2017、IEC 60079-31:2013

安全に使用するための特別条件 (X) :

- 1.ハウジングのポリウレタン塗装仕上げは静電放出の危険につながる場合があります。そのような表面の静電気帯電に対して伝導性のある外的状況から筐体を保護するように注意してください。また、装置は湿らせた布でのみ清掃するようにしてください。
- 2.本装置には EN 60079-7:2015+ A1:2017 の条項 6.1 に定義される 500 V の絶縁耐圧試験の耐性はありません。設置する際はこの点に注意してください。

ゾーン 2 までの本質安全防爆出力を備えた NF IECEx 粉塵着火防止

証明書 IECEx BAS.20.0027X

マーク Ex tc [ic IIC Gc] IIIC T90 °C Dc (-40 °C ≤ T_a ≤ +65 °C)

規格 IEC 60079-0:2017、IEC 60079-7:2015+A1:2017、IEC 60079-11:2011、IEC 60079-15:2017、IEC 60079-31:2013

安全に使用するための特別条件 (X) :

1. ハウジングのポリウレタン塗装仕上げは静電放出の危険につながる場合があります。そのような表面の静電気帯電に対して伝導性のある外的状況から筐体を保護するように注意してください。また、装置は湿らせた布でのみ清掃するようにしてください。
2. 本機器の本質的に安全でない電源、Modbus RTU およびイーサネットポート接続には、たとえば IEC 60950 シリーズ、IEC 61010-1 または技術的に同等の標準の要件に準拠する機器などの安全特別低電圧 (SELV) または 保護特別低電圧 (PELV) 回路から電力が供給されなくてはなりません。
3. 本装置には EN 60079-7:2015+ A1:2017 の条項 6.1 に定義される 500 V の絶縁耐圧試験の耐性はありません。設置する際にはこの点に注意してください。

8 適合宣言

	
EU Declaration of Conformity No: RMD 1157 Rev. C	
We,	
Rosemount Inc. 6021 Innovation Blvd. Shakopee, MN 55379 USA	
declare under our sole responsibility that the product,	
Emerson™ Wireless 1410S Gateway	
manufactured by,	
Rosemount Inc. 6021 Innovation Blvd. Shakopee, MN 55379 USA	
to which this declaration relates, is in conformity with the provisions of the European Community Directives, including the latest amendments, as shown in the attached schedule.	
Assumption of conformity is based on the application of the harmonized standards and, when applicable or required, a European Community notified body certification, as shown in the attached schedule.	
 _____ (signature)	Vice President of Global Quality _____ (function name - printed)
Mark Lee _____ (name - printed)	<i>October 20, 2020</i> _____ (date of issue)
<small>Page 1 of 3</small>	

	<h2>EU Declaration of Conformity</h2>	
<p>No: RMD 1157 Rev. C</p>		
<p>ATEX Directive (2014/34/EU) Emerson™ Wireless 1410S Gateway</p>		
<p>SGS20ATEX0036X – Increased Safety with Intrinsically Safe Outputs to Zone 0 and Dust-Ignition Proof with Intrinsically Safe Outputs to Zone 0</p>		
<p>Equipment Group II Category 3 (1) G Ex ec [ia Ga] IIC T4 Gc (-40°C ≤ T_a ≤ +65°C) Ex ec nA [ia Ga] IIC T4 Gc (-40°C ≤ T_a ≤ +65°C) Equipment Group II Category 3D (1G) Ex tc [ia IIC Ga] IIIC T90° Dc (-40°C ≤ T_a ≤ +65°C)</p>		
<p>Harmonized Standards: EN IEC 60079-0:2018 EN 60079-7: 2015 + A1:2018 EN 60079-11:2012 EN 60079-15:2010 EN 60079-31:2014</p>		
<p>SGS20ATEX0057X – Increased Safety with Intrinsically Safe Outputs to Zone 2 and Dust-Ignition Proof with Intrinsically Safe Outputs to Zone 2</p>		
<p>Equipment Group II Category 3G Ex ec [ic] IIC T4 Gc (-40°C ≤ T_a ≤ +65°C) Ex ec nA [ic] IIC T4 Gc (-40°C ≤ T_a ≤ +65°C) Equipment Group II Category 3D (3G) Ex tc [ic IIC Gc] IIIC T90° Dc (-40°C ≤ T_a ≤ +65°C)</p>		
<p>Harmonized Standards: EN IEC 60079-0:2018 EN 60079-7: 2015 + A1:2018 EN 60079-11:2012 EN 60079-15:2010 EN 60079-31:2014</p>		
<p>Page 2 of 3</p>		

	
EU Declaration of Conformity No: RMD 1157 Rev. C	
<hr/>	
A TEX Notified Bodies	
SGS FIMCO OY [Notified Body Number: 0598] P.O. Box 30 (Sarkiniementie 3) 00211 HELSINKI Finland	
<hr/>	
A TEX Notified Body for Quality Assurance	
SGS FIMCO OY [Notified Body Number: 0598] P.O. Box 30 (Sarkiniementie 3) 00211 HELSINKI Finland	
<hr/>	
EMC Directive (2014/30/EU)	
Harmonized Standards: EN 61326-1: 2013	
<small>Page 3 of 3</small>	

No: RMD1163 Rev. B

EMERSON Declaration of Conformity **CE / UK CA**

We,
Rosemount Inc.
 6021 Innovation Blvd
 Shakopee, MN 55379
 USA

declare under our sole responsibility that the product,
Rosemount™ 1410S1 Wireless Indoor Gateway

Authorized Representative in Europe:
 Emerson S.R.L., company No. J12/88/2006, Emerson 4
 street, Parcul industrial
 Tetarom II, Cluj-Napoca 400638, Romania

Regulatory Compliance Shared Services Department
 Email: europesproductcompliance@emerson.com Phone:
 +40 374 132 035

For product compliance destination sales
 questions in Great Britain, contact Authorized
 Representative:
 Emerson Process Management Limited at
ukproductcompliance@emerson.com or +44 11
 6282 23 64, Regulatory Compliance Department.

Emerson Process Management Limited, company
 No 00671801, Meridian East, Leicester LE19 1UX,
 United Kingdom

to which this declaration relates, is in conformity with:

- the relevant statutory requirements of Great Britain, including the latest amendments
- the provisions of the European Union Directives, including the latest amendments

 *Dec 7, 2022*
 (signature & date of issue)

Mark Lee | Vice President, Quality | Boulder, CO, USA
 (name) (function) (place of issue)

ATEX Notified Body for EU Type Examination Certificate:
 CSA Group Netherlands B.V. [Notified Body Number: 2813]
 Utrechtseweg 310
 6812 AR ARNHEM
 Netherlands

UK Conformity Assessment Body for UK Type Examination Certificate:
 CSA Group Testing UK Ltd [Approved Body Number: 0518]
 Unit 6 Hawarden Industrial Park, Hawarden, CH5 3US
 United Kingdom

ATEX Notified Body for Quality Assurance:
 SGS Fimko Oy [Notified Body Number: 0598]
 Takonolite 9
 00300 Helsinki
 Finland

UK Approved Body for Quality Assurance:
 SGS Baseefa Ltd. [Approved Body Number: 1180]
 Rockhead Business Park, Staden Lane
 Buxton, Derbyshire. SK17 6RZ
 United Kingdom

No: RMD1163 Rev. B	
 Declaration of Conformity  	
<p>EMC Directive (2014/30/EU) Harmonized Standards: EN 61326-1:2013</p> <hr/> <p>ATEX Directive (2014/34/EU)</p> <p>CSA Ne 22ATEX1078X – Model 1410S1 Wireless Indoor Gateway Equipment Group II, Category 3(1) G Ex ec [Ia Ga] IIC T4 Gc (-40°C ≤ Ta ≤ 70°C)</p> <p>Equipment Group II, Category 3(2D) G Ex ec [Ia IIIC Db] IIC T4 Gc (-40°C ≤ Ta ≤ 70°C)</p> <p>Harmonized Standards: EN IEC 60079-0:2018 EN 60079-11:2012 EN 60079-5:2015/A1:2018</p> <p>CSA Ne 22ATEX1140X – Model 1410S1 Wireless Indoor Gateway Equipment Group II, Category 3(3) G Ex ec [Ic] IIC T4 Gc (-40°C ≤ Ta ≤ 70°C)</p> <p>Equipment Group II, Category 3(3D) G Ex ec [Ia IIIC Dc] IIC T4 Gc (-40°C ≤ Ta ≤ 70°C)</p> <p>Harmonized Standards: EN IEC 60079-0:2018 EN 60079-11:2012 EN 60079-5:2015/A1:2018</p>	<p>Electromagnetic Compatibility Regulations 2016 (S.I. 2016/1091) Designated Standards: EN 61326-1:2013</p> <hr/> <p>Equipment and Protective Systems Intended for use in Potentially Explosive Atmospheres Regulations 2016 (S.I. 2016/1107) CSAE 22UKEX1224X – Model 1410S1 Wireless Indoor Gateway Equipment Group II, Category 3(1) G Ex ec [Ia Ga] IIC T4 Gc (-40°C ≤ Ta ≤ 70°C)</p> <p>Equipment Group II, Category 3(2D) G Ex ec [Ia IIIC Db] IIC T4 Gc (-40°C ≤ Ta ≤ 70°C)</p> <p>Designated Standards: EN IEC 60079-0:2018 EN 60079-11:2012 EN 60079-5:2015/A1:2018</p> <p>CSAE 22UKEX1307X – Model 1410S1 Wireless Indoor Gateway Equipment Group II, Category 3(3) G Ex ec [Ic] IIC T4 Gc (-40°C ≤ Ta ≤ 70°C)</p> <p>Equipment Group II, Category 3(3D) G Ex ec [Ia IIIC Dc] IIC T4 Gc (-40°C ≤ Ta ≤ 70°C)</p> <p>Designated Standards: EN IEC 60079-0:2018 EN 60079-11:2012 EN 60079-5:2015/A1:2018</p>



クイック・スタート・ガイド
00825-0604-4410, Rev. BC
2022年12月

詳細は、[Emerson.com](https://www.emerson.com) をご覧ください。

©2022 Emerson 無断複写・転載を禁じます。

Emerson の販売条件は、ご要望に応じて提供させていただきます。Emerson のロゴは、Emerson Electric Co. の商標およびサービスマークです。Rosemount は、Emerson 系列企業である一社のマークです。他のすべてのマークは、それぞれの所有者に帰属します。

ROSEMOUNT™

